

令和5年度 第3回 学校運営協議会
第2回 学校関係者評価委員会 第2回校内コンプライアンス委員会 記録

1 日時 令和6年 2月20日(火) 午前9時30分から午前11時30分まで

2 場所 沼津視覚特別支援学校 会議室

3 出席者

(1) 外部委員

第5地区西連合会事務局長

東部社会教育振興協議会

特定非営利活動法人ティンクル沼津

和太鼓奏者・本校卒業生

沼津ライオンズクラブ会長

三島市主任児童委員

本校PTA

(2) 学校職員

校長 教頭 事務長 各部主事・主任

4 会議内容

(1) 校長あいさつ

(2) 令和5年度学校自己評価について報告・説明

(3) 委員からの御感想、御意見、御提言等

(4) 不祥事根絶に向けた取組の報告・説明

5 会議報告

(1) 校長あいさつ

学び発信をキーワードに運営し、自己選択、自己決定を促すことができたと感じている。新しく体験教室も実施した。学校運営委員会、学校関係者評価委員会、コンプライアンス委員会の3つの会から忌憚のない意見をいただき、来年につなげたい。

(2) 令和5年度学校自己評価について →関係者評価

ア・視覚障害に留意した「主体的に学び思考を深め表現する授業づくり」→A

・視覚障害教育に必要な専門性の向上(ICT活用や情報保障を含む) →A

イ・将来を見据え、各ステージで大切にしたいことを意識した指導 →A

・心身の健康の保持・増進 →A

ウ・超早期から成人までの切れ目のない教育相談の充実 →A

・本校と視覚支援について東部地区における理解推進 →B

・地域における人との関わりの拡充 →B

エ・一人一人が緊急時や発災時にどのように動くかわかる緊急体制の整備 →A

・児童生徒が安全安心に活動でき、魅力的な環境の整備 →A

オ・専門性向上と授業準備ができ、魅力的な環境の整備 →A

・個々の強みを活かした風通しの良い職場づくり →B

(3) 委員からの御感想、御意見、御提言等

- ・入学して子どもの活動の幅が広がっており、先生方には感謝している。
- ・授業について学校と家庭の情報共有は大切で、連絡帳等で丁寧にやりとりされているが、学校が全て伝えるのではなく、子供が自ら家庭で話すことも意識していくとよい。
- ・「授業力」とはどんなことか？
→子どもたちが主体的に学べる授業が知識、技能、思考力を育てる授業だと考えている。そんな授業を意図的計画的にできる力
- ・自己評価100%は容易ではないが、先生方の意識が高く、結果にあらわれている。
- ・ほとんどの保護者自身は視覚障害がないので、子どもの将来を考えたときに不安だと思うが、学校の情報提供への要望はきりがない気もする。大切なのは聞ける人を持てるかどうか、卒業生と在校生のつながりが大事。昔は今よりあったと思う。
- ・保護者としては、情報は欲しい。参観日等で会った時に、上級生の親と話したり、SNSのチャットを通じて知りたい情報を得たりしているが、卒業生の親とつながっているといいと感じる。
- ・情報がありすぎるとデメリットとして不安になることもある。教員は保護者に寄り合い一緒に考えていくことが大切だと思う。
- ・理解推進活動での先生方の学校に対する手応えはどうか。盲学校に対する誤解が相変わらず多いと感じる。一般的な勉強をしていないと思っている。
→全盲の人が行く学校、点字、白杖の使い方を学ぶところというイメージはあるが、これまで地道にやってきた活動で、それなりに伝えたことが受け継がれているとも感じている。
- ・情報を知らないと言うことと知っていることとの差は大きい。当事者側からSNS発信している方もいる。発信はとても大事。
- ・学校が理解推進活動で保健期間に求めるものは何か。
→3歳児健診に来る困り感のある親とつながることが目的。少しでも早く支援できるように引き続き訪問していきたい。
- ・必要な方に情報が届くようにするためには、保健師さんにこの学校のよさを知ってもらうことが一番効果的と感じる。保健センターに理解推進に行っているはよい。
- ・被災時に視覚障害者が避難所で対応してもらえなかったと聞いていて心配に感じる。
→視覚障害のある人の避難所運営をどうするかは市や地域も気にかけていて、学校から「視覚障害者の避難生活の手引き」を情報提供している。
- ・風通しのよい職場づくりでは、職員間の関係は学校以外の職場でも難しい面が多くある。十分良い結果がでていますが、更なる期待をこめてBが良いと思う。

(4) 不祥事根絶に向けた取り組みの報告・説明

- ・第1回会議で示した不祥事根絶に向けた取り組みとして、教職員心得チェックを6月と1月に行った。32項目中、30項目で80%以上概ね出来ているとの結果と

なった。「同僚の気になることについて声をかけている」「机上とバックの整理整頓」の2項目は他より低めの結果で、6月より1月の方がより低い結果となった。個人情報を多く取り扱うため、整理整頓は重要である。意識が低下している部分があるため再度確認し意識を高めたい。

<委員からの質問やご意見>

- ・同僚の気になることについて本人には声をかけにくいですが、管理職等には伝えられているのか。
→同僚の気になることについて、誰かに相談できているかわかる質問の仕方を工夫したい。また、悩み事やストレスが気になる言動にあらわれるかもしれないという視点で職員には声をかけている。
- ・先生方はカウンセリングで重要な傾聴の技術を学んでいるか。
→初任者研修や年次研修で、重点を置いて扱われている。管理職は毎年行っている。
- ・先生方が相談できる体制はどのようなか。カウンセリングに抵抗がある人も多く、周囲の目が気になり受けにくいのでは。
→職員が相談できるスクールカウンセラーやサポートルーム相談員が定期的に来校している。外部の相談機関の案内も行っている。

多くの参考となるご意見ありがとうございました。